

## 教育旅行魅力発信強化事業業務委託仕様書

### 1 業務名

この業務は「教育旅行魅力発信強化事業業務」（以下「本事業」という）とする。

### 2 目的

本事業は、震災以降低調な回復状況となっている本県の教育旅行再生に向け、地域の強みを活かした教育旅行プログラムや震災・原発事故の被災地をフィールドとした「ホープツーリズム」を県内外へ広く発信することで、本県へ教育旅行誘致に資することを目的とする。

### 3 業務内容

#### (1) モデルルートの造成

県外の学校が本県で教育旅行を実施するためのモデルルートを3コース造成すること。ホープツーリズムのモデルルート造成にあたっては、別紙1を参考に本県ならではの教育旅行のコンテンツや体験を新たに組み込み、教育旅行として適した実現可能性のある行程とすること。

ア ターゲット：県外の中学校の生徒又は高等学校の生徒（120名程度を想定）

#### (ア) SDGs 探究プログラムを中心としたコース

##### a モデルルート造成にあたり組み込むべき事項

- ・SDGs 探究プログラム（別紙2）を2つ程度組み込むこと。
- ・複合災害（地震・津波・原子力災害）を経験した本県ならではの新しいスタディツアーであるホープツーリズム（以下「ホープツーリズム」という。）を組み入れること。
- ・震災・原子力災害の被災地域でホープツーリズムの学習を行う場合は、フィールドパートナーを付けること。
- ・復興に果敢に挑戦する人々との対話を設けること。
- ・行程のバランスを考慮したうえで、会津の歴史学習をはじめ、環境学習、自然学習等を組み込むこと。

##### b モデルルートの日数

2泊3日

##### c モデルルートの訪問エリア

震災・原子力災害の被災地域かつ浜通り、会津を訪問エリアに組み込むこと。

なお、モデルルートは福島県内で完結すること。

##### d モデルルートに組み込む宿泊施設

教育旅行で使用される施設（定員利用）

##### e 造成数

## 2本

イ ターゲット：雪のない地域にあり、スキーの経験の少ない県外の高等学校の生徒（200名程度を想定）

(ア) SDGs 探究プログラムとスキー学習を中心としたコース

a モデルルート造成にあたり組み込むべき事項

- ・SDGs 探究プログラム（別紙2）を2つ程度組み込むこと。
- ・スキー初心者を対象とするため、インストラクターを付けてスキー体験を行うこと。
- ・ホープツーリズムを組み入れること。
- ・震災・原子力災害の被災地域でホープツーリズムの学習を行う場合は、フィールドパートナーを付けること。

b モデルルートの日数

2泊3日

c モデルルートの訪問エリア

震災・原子力災害の被災地域かつ浜通り、会津を訪問エリアに組み込むこと。  
なお、モデルルートは福島県内で完結すること。

d モデルルートに組み込む宿泊施設

教育旅行で使用される施設（定員利用）

e 造成数

1本

(2) 3 (1) で造成したコースを実証するためのモニターツアーの実施

ア 「3 (1) ア」のコース

(ア) モニターツアーの目的

新規に造成したモデルルートについて、今後福島県への教育旅行が見込まれる、中部地方の学校教員にPRを行い、あらたな教育旅行の誘致を目指す。

(イ) 日数

2泊3日

(ウ) 日程

令和5年11月頃

(エ) 募集対象

岐阜県・愛知県・静岡県管内にある高等学校教員等10名程度

(オ) 交通手段

名古屋駅又は静岡駅発着東海道新幹線利用、品川駅又は東京駅発着特急又は東北新幹線利用、県内バス移動

(カ) 宿泊施設

教育旅行で使用される施設（1名1室）

イ 「3 (1) イ」のコース

(ア) モニターツアーの目的

新規に造成したモデルルートについて、雪質のよいスキー等をフックとしたPRを行い、あらたな教育旅行の誘致を目指す。

(イ) 日数

2泊3日

(ウ) 日程

令和5年12月頃

(エ) 募集対象

九州管内にある高等学校教員等10名程度

(オ) 交通手段

各県の空港発着で羽田空港経由、品川駅又は東京駅発着特急又は東北新幹線利用、県内バス移動

(カ) 宿泊施設

教育旅行で使用される施設（1名1室）

(3) 「3（1）ア」で造成したコースをPRするためのモニターツアーの実施

ア モニターツアーの目的

新規に造成したモデルルートについて、ホープツーリズムやSDGs探究プログラム等の学習効果をPRすることで、あらたな教育旅行の誘致を目指す。また、県内教育旅行関係者との商談会を実施し、旅行会社へ県内コンテンツを売り込む糸口とすること。

イ 日数

2泊3日

ウ 日程

令和5年12月頃

エ 募集対象

茨城県・栃木県・群馬県・新潟県にある旅行会社員15名程度

オ 交通手段

各県の新幹線停車駅又は特急停車駅発着、品川駅又は東京駅発着東北新幹線又は特急利用、県内バス移動

カ 宿泊施設

教育旅行で使用される施設（1名1室）

キ その他

県内教育旅行関係者を集めた商談会を、モニターツアー催行中に1回実施すること。

(4) モニターツアーの実施

県外の学校が本県で教育旅行を行うため、別紙1を参考に、本県ならではの教育旅行のコンテンツや体験を新たに組み込んだモニターツアーを実施すること。

ア ホープツーリズムを中心としたコース（1泊2日）

(ア) モニターツアーの目的

ホープツーリズムを中心としたモデルルートについて、モニターツアーを行い、ホープツーリズムが学習効果の高いコンテンツであることを証明し、あらたな教育旅行の誘致を目指す。

(イ) 日数

1泊2日

(ウ) 日程

令和5年11月頃

(エ) 募集対象

首都圏にある中学校又は高等学校教員等10名程度

(オ) モニターツアー実施時の注意点

- ・震災・原子力災害の被災地域でホープツーリズムの学習を行う場合は、フィールドパートナーを付けること。
- ・復興に果敢に挑戦する人々との対話を設けること。

(カ) モニターツアーの訪問エリア

別紙1を参考に震災・原子力災害の被災地域かつ浜通りを訪問エリアに組み込むこと。なお、モニターツアーは福島県内で完結すること。

(キ) 宿泊施設

教育旅行で使用される施設（1名1室）

(サ) 交通手段

品川駅又は東京駅発着特急又は東北新幹線利用、県内バス移動

イ ホープツーリズムを中心としたコース（2泊3日）

(ア) モニターツアーの目的

ホープツーリズムを中心としたモデルルートについて、モニターツアーを行いホープツーリズムが学習効果の高いコンテンツであることを証明し、あらたな教育旅行の誘致を目指す。

(イ) 日数

2泊3日

(ウ) 日程

令和5年12月頃

(エ) 募集対象

首都圏にある中学校又は高等学校の教員（1～2名程度）、生徒計20名程度

(オ) モニターツアー実施時の注意点

- ・震災・原子力災害の被災地域でホープツーリズムの学習を行う場合は、フィールドパートナーを付けること。
- ・復興に果敢に挑戦する人々との対話を設けること。

(カ) モニターツアーの訪問エリア

別紙1を参考に震災・原子力災害の被災地域かつ浜通りを訪問エリアに組み

込むこと。なお、モニターツアーは福島県内で完結すること。

(キ) 宿泊施設

教育旅行で使用される施設（2～3名1室）

(サ) 交通手段

東京駅等発着特急又は東北新幹線利用、県内バス移動

ウ ホープツーリズムを中心としたコース（2泊3日）

(ア) モニターツアーの目的

新規に造成したモデルルートについて、ホープツーリズムの学習効果をPRすることで、あらたな教育旅行の誘致を目指す。また、県内教育旅行関係者との商談会を実施し、旅行会社へ県内コンテンツを売り込む糸口とすること。

(イ) 日数

2泊3日

(ウ) 日程

令和6年1月頃

(エ) 募集対象

大阪府・京都府・滋賀県・兵庫県にある旅行会社員15名程度

(オ) モニターツアー実施時の注意点

- ・震災・原子力災害の被災地域でホープツーリズムの学習を行う場合は、フィールドパートナーを付けること。
- ・復興に果敢に挑戦する人々との対話を設けること。

(カ) モニターツアーの訪問エリア

別紙1を参考に震災・原子力災害の被災地域かつ浜通りを訪問エリアに組み込むこと。なお、モニターツアーは福島県内で完結すること。

(キ) 宿泊施設

教育旅行で使用される施設（1名1室）

(サ) 交通手段

各県の新幹線停車駅発着東海道新幹線利用、品川駅又は東京駅発着東北新幹線又は特急利用、県内バス移動

(シ) その他

県内旅行関係者を集めた商談会を、モニターツアー催行中に1回実施すること。

(5) モニターツアー実施に係る業務について

ア 手配・催行管理業務

上記「3(2)(3)(4)」のモニターツアー（以下「6コースのモニターツアー」という。）について、訪問先、ガイド、宿泊施設、貸切バス、昼食会場（弁当の場合あり）、夕食会場及び会議室等に係る全行程の手配を行うこと。モニターツアー参加者へJR券等、最終行程表の送付を行うこと。また、申込先を受託者とし、参加者名等の情報集計のうえ、公益財団法人福島県観光物産協会（以

下「協会」という。)へ提出すること。モニターツアーを実施する業者は旅行者旅行業第1種又は第2種の資格を有すること。

イ 添乗業務

協会と協議の上決定した6コースのモニターツアーについて、モニターツアー毎に添乗員1名が全行程同行し旅程管理を行うこと。また、モニターツアー中、実績報告書用の記録写真の撮影を行うこと。

ウ モニターツアーの広報・告知及び参加者の募集

各コースの募集チラシを作成し、6コースのモニターツアー参加人数の合計が80名以上となるよう幅広く募集すること。チラシのデザインについては受託者が行うこと。なお、募集方法については、受託者が持つネットワークを活用し、必要に応じて協会と協議の上決めること。

エ モニターツアー参加者へのアンケートの実施

アンケート調査票を作成し、実施すること。なお、アンケートの調査項目については協会と協議の上決定すること。

オ アンケートの分析・集計

上記エのアンケートの内容を集計、分析の上、報告書にまとめること。

(6) 只見エリア教育旅行受入体制の整備

ア 只見エリアの観光に携わる関係者等の選定

教育旅行受入施設や学校のニーズを的確に把握できる地元の関係者等を協会と協議の上1名選定すること。

イ 教育旅行コンテンツの発掘

上記アで選定した地元の関係者と連携して、只見線沿線(会津若松駅～只見駅)等の新たな教育旅行コンテンツを3つ以上造成すること。

ウ モデルコースの造成

上記イで造成したコンテンツを組み入れた県内を回遊する教育旅行モデルコースを3コース以上造成すること。なお、3コースのうち最低でも1コースに別紙1を参考に震災・原子力災害の被災地域を組み込んだホープツーリズムを組み入れること。

エ 教育旅行コンテンツ及びモデルコースの想定

県外の中学校又は高等学校の生徒20名程度で、交通手段はバス移動等による。

(7) SDGs探究プログラムの造成・既存プログラムの改修

ア SDGsの専門家等の選定

県内の教育旅行関係者がSDGsの視点に基づいた探究プログラムを3つ以上造成することができるよう、助言ができる専門家等を1名選定すること。

イ SDGs探究プログラムの造成

SDGs探究プログラムを3つ以上造成すること。

- ・本県で教育旅行を実施する県外の学校向けのプログラムであること。
- ・最新の新学習指導要領に適応したプログラムであること。

・ 造成したプログラム毎に、想定される事前学習、現地学習、事後学習の学びの内容を考えること。

・ 造成したプログラム毎に、受け入れ人数、料金、体験時間、問い合わせ先等を明確にし、受け入れができる仕組みを構築すること。

ウ 既存プログラムの改修

令和3年度、福島県と協会が造成したSDGs探究プログラム38本(別紙2)の内容を各事業者へヒアリングし、既存のプログラムシートを更新すること。

エ 期限

令和5年12月末頃

(8) 取材業務

協会が指定する以下の取材を行い、情報及び素材を収集・整理すること。記事掲載に関する取材及び掲載許可等、掲載に必要な確認業務の一切をすること。また、著作権や肖像権等の諸権利についても、受託者において承諾を得るものとする。取材対象については協会より別途指示を行う。

ア 上記「(1) モニターツアー」及び本県で教育旅行を実施する県外の教育関係者への同行取材

日程：県内1～3日間

回数：延べ9日程度

内容：取材(教員、生徒へのインタビュー等)、実施内容等の概略記録(原稿の作成、取材協力先等への校正確認)、撮影等。

その他：同行取材の日程については、取材日の半月程度前に協会より指定する。

イ 各分野で復興に向け挑戦する福島の人々(10名程度)の取組内容等に関する取材

日程：県内日帰り

回数：5回程度(1回当たり2名程度×5回)

内容：取材(ヒアリング等)、取組内容等の概略記録(原稿の作成)、撮影等

(9) ガイドブック等の制作に係る修正又は改訂

ア 教育旅行総合ガイドブック

(ア) 教育旅行総合ガイドブック仕様

サイズ：日本工業規格A4版

用紙：表紙：マットコート紙110kg相当

本文：マットコート紙90kg

相当ページ数：36頁(表紙・裏表紙含む)

色数・印刷：4c/4c(オフセット印刷)

製本方法：中綴じ製本加工

(イ) 納入期限

令和6年2月初旬頃

(ウ) 修正内容

- ・協会が提供する印刷用データ（アウトライン化済）を基に修正すること。
- ・教育旅行総合ガイドブックP4～5の地図を更新すること。
- ・協会が指定する箇所（60カ所程度）の更新確認を行うこと。
- ・必要に応じて文字・レイアウト修正、画像の差し替えを行うこと。

#### イ ホープツーリズム総合ガイドブック

##### （ア）ホープツーリズム総合ガイドブック仕様

サイズ：日本工業規格A4版

用紙：ホワイトエクセルケント-FS 90kg

ページ数：32頁（表紙・裏表紙含む）

色数・印刷：4c/4c

製本方法：中綴じ製本加工

##### （イ）納入期限

令和5年10月中旬頃

##### （ウ）修正内容

- ・協会が提供する印刷用データ（アウトライン化済）を基に修正すること。
- ・ホープツーリズム総合ガイドブックP4～5地図を更新すること。
- ・必要に応じて文字・レイアウト修正、画像の差し替えを行うこと。
- ・協会が指定する1～2施設の取材（原稿の作成、取材協力先等への校正確認、撮影）をすること。

#### ウ SDGs探究プログラム教育旅行ガイド

##### （ア）SDGs探究プログラム教育旅行ガイド仕様

サイズ：日本工業規格A4版

用紙：表紙：マットコート紙90kg相当

ページ数：24頁程度（表紙・裏表紙含む）

色数・印刷：4c/4c

製本方法：中綴じ製本加工

##### （イ）納入期限

令和6年2月初旬頃

##### （ウ）修正内容

- ・協会が提供する印刷用データ（アウトライン化済）を基に修正すること。
- ・改訂に伴い、表紙を新たなデザインにすること。
- ・必要に応じて文字修正、画像の差し替えを行うこと。
- ・上記「3（10）イ、ウ」を適切なレイアウト・デザインに反映して4頁程度使用して追加すること。

#### エ 印刷数

上記「3（9）ア、イ、ウ」について各5,000部。

#### オ 使用画像について

上記「3（9）ア、イ、ウ」の画像は協会が支給するデータ又は「3（1）」

で収集した素材を使用すること。

#### カ 校正について

文字校正回数は、初校、再校、最終校正の3回、色校正1回とする。ただし、文字校正作業は協会が校了と判断するまで行うものとし、欠字・誤字のある場合はこの限りではない。

#### (10) 封入発送・業務

上記「3(9)ア、イ、ウ」を各1部封入し、学校・旅行会社等へ1,000カ所程度に発送を行うこととする。最終的な送付先・内訳については、協会が作成した「送付先一覧」に基づき随時行うこと。

- ・協会が指示する送付文を印刷のうえ、送付先に合わせて添付すること。
- ・送付先一覧エクセルデータを基に発信用宛名ラベルを作成すること。
- ・発信用宛名ラベルを封筒に貼り付け、協会指定の送付文を各送付先の必要部数、種類に合わせ封入すること。
- ・送付先の住所や宛名の変更等により返送された場合は、速やかに協会に報告すること。
- ・送付用封筒は協会が提供する封筒を使用すること。

#### (11) 納品先

上記「3(9)ア、イ、ウ」は、協会が指定する倉庫（福島市庄野字一本柳1-10）へ納品すること。

#### (12) ホープツーリズム事前学習動画作成業務

ホープツーリズム参加者が本県を訪れる前にホープツーリズムについて学習できる動画（立案、取材・撮影、編集、ナレーション入れ、校正作業等をすべて含む）を作成すること。動画を通して、参加者が本県及びホープツーリズムへ興味関心を持ち、実際に本県を訪れた際に自らの学びを深められるような内容とすること。動画の流れについては絵コンテを作成し、それに則り撮影・編集を行うこと。

ア 対象：中学生、高校生

イ 本数：1本

ウ 動画時間：30分

エ 納入期限：令和5年11月頃

#### オ 留意事項

- ・動画作成に係る素材は、上記「3(4)イ」の画像及び協会から提供する資料等を組み入れること。
- ・動画コンセプト・校正、ナレーション、テロップ文言、そのほか動画作成に必要な事項は、協会と協議の上決定すること。
- ・動画撮影に係る一切の経費（編集、ナレーション費、コーディネート費、各種データ費等）は、すべて事業費に含むこと。
- ・本動画については令和7年まで使用することを前提に作成すること。

#### (13) ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西へ出展について

さまざまな産業界関係者に対し、本県の教育旅行・ホープツーリズム及び一般観光を効果的に周知するための企画・ブースデザイン・運営管理を行うこと。

ア 日時：商談会 令和5年10月26日（木）～27日（金）

一般日 令和5年10月28日（土）～29日（日）

※設営準備 令和5年10月25日（水）

イ 対象：旅行会社、一般客等

ウ 会場：インテックス大阪 大阪府大阪市住之江区南港北1丁目5-102

エ 出展タイプ：3小間（W3m×D3m×H2.7m）

※3小間を教育旅行、ホープツーリズム、一般観光で使用すること。

※レンタルルール（W3m×D3m×H2.7m）1部屋あり

・出展に係るスケジュール管理及び出展の企画、レイアウト作成、レイアウト設置及び撤収を行うためのチームを設置すること。

・福島県観光交流課が出展する他のブースと連携した企画を行うこと。詳細は協会と協議の上決定すること。

・出展の設営及び撤去に必要な人員を手配すること。

・来場者へ実施するアンケート内容を協会と協議の上決めること。実施後速やかに集計・分析を行い、報告書を提出すること。

・出展に必要な機材、備品等を設置する費用は事業費に含めること。

・3小間出展分及びレンタルルームの出展費用は事業費に含まない。

#### 4 実績報告書の作成

上記「3（1）～（12）」について取りまとめた実績報告書を作成し、委託期間内に提出すること。

※各事業の実施状況について、月報として報告を行う（任意様式）こととし、前月分の実績を翌月5日までに報告すること。

#### 5 成果品

(1) 実績報告書（任意様式）2部

(2) SDGs探究プログラムプログラムシート

(3) 教育旅行総合ガイドブック

(4) ホープツーリズム総合ガイドブック

(5) SDGs探究プログラム教育旅行ガイド

(6) 上記（2）～（5）印刷用データ一式と新たに収集した画像データ一式

(7) ホープツーリズム事前学習動画データを収めたDVD 2枚

※5（3）～（5）については、印刷数5,000部から、協会の指示による郵送数を除いた残数を成果品とする。

#### 6 提出書類

受託者は、委託契約書に定めるもののほか、次の各号に掲げる書類を協会の指定する日までに提出しなければならない。

- (1) 契約締結後に速やかに提出するもの
  - ア 委託業務着手届（様式第1号）
  - イ 業務実施体制図（任意様式）
  - ウ 実施工程表（任意様式）
  - エ その他、協会が業務の確認に必要と認める書類
- (2) 業務完了後に速やかに提出するもの
  - ア 委託業務完了届（様式第2号）
  - イ 上記「5 成果品」に記載のもの一式
  - ウ その他、協会が業務の確認に必要と認める書類（任意様式）

## 7 契約に関する条件

- (1) 成果品一式の著作権及び所有権は、正当な手続きにより使用又は借用した第三者のものを除き、協会に帰属するものとする。
- (2) 受託者は、本業務の全部を一括して第三者に委託し、又は請け負わせることはできない。業務の一部を第三者に委託する場合は、事前に当協会と協議して了承を得ること。

## 8 その他留意事項

- (1) 業務の遂行に必要な費用は、全て委託料に含めることとし、受託者が負担すること。
- (2) 本事業は主に福島県外の生徒及び教職員、旅行会社に対して本県のホープツーリズム・教育旅行の魅力を継続的に発信するために行うものであることに留意すること。
- (3) 受託者は、仕様書に疑義が生じたとき、あるいは仕様書に規定していない事項で必要のある場合は、協会と速やかに協議の上、その指示に従うこと。
- (4) 受託者は、本業務に係る本県の検査が実施される場合には、協会に協力しなければならない。

様式第1号

委託業務着手届

令和 年 月 日

公益財団法人福島県観光物産交流協会 理事長 様

受託者 住 所  
名 称  
代表者

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務は、令和 年 月 日付で  
着手しましたので届け出ます。

記

1 業 務 名 教育旅行魅力発信強化事業

2 着 手 日 令和 年 月 日

様式第2号

委託業務完了届

令和 年 月 日

公益財団法人福島県観光物産交流協会 理事長 様

受託者 住 所  
名 称  
代表者

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務は、令和 年 月 日完了  
しましたので、報告します。

記

1 業 務 名 教育旅行魅力発信強化事業

2 完 了 日 令和 年 月 日

## 教育旅行魅力発信強化事業

日次	行程	食事
1	<p style="text-align: center;">貸切バス利用</p> <p>各地 . . . . . 福島県内 . . . . . ◎東日本大震災・原子力災害伝館 . . . . .</p> <p>◎浪江町・双葉町フィールドワーク . . . . . ホテル</p> <p>※震災遺構 請戸小学校見学</p>	<p>朝：—</p> <p>昼： 福島県内 到着時間による</p> <p>夕：○</p>
<p>宿泊：楡葉町等</p>		
2	<p style="text-align: center;">貸切バス利用</p> <p>ホテル . . . . .</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>【震災・原子力災害の被災地域のコンテンツ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○楡葉遠隔技術開発センター</li> <li>○中間貯蔵施設</li> <li>○東京電力廃炉資料館</li> <li>○特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま</li> <li>○富岡復興メガソーラー・SAKURA</li> <li>○浅野燃糸 双葉事務所 等</li> </ul> </div> <p>. . . . . 福島県内 . . . . . 各地又は福島県内宿泊</p>	<p>朝：○</p> <p>昼：○</p> <p>夕：—</p>

## ○モニターツアー造成時の条件

- ・モニターツアー1日目は「東日本大震災・原子力災害伝館」、「浪江町・双葉町フィールドワーク(請戸小学校見学)」を行程に含むこと。
- ・モニターツアー2日目以降は「震災・原子力災害の被災地域のコンテンツ」を組み込み、教育旅行として適した実現可能性のある行程とすること。

番号	地区	SDGs探究プログラム名	事業者名
1	会津	ロハス食育環境プログラム	Active Resorts 裏磐梯
2	会津	裏磐梯に学ぶ景観保持（環境保全型プログラム）	Active Resorts裏磐梯
3	会津	あなたの赤べこはどんな色？	Active Resorts 裏磐梯
4	会津	富良野自然塾裏磐梯校～五感を使って地球環境問題を学ぼう～	グランデリゾート
5	会津	磐梯山を通して火山のすばらしさと恐ろしさを理解	磐梯山噴火記念館
6	会津	磐梯山噴火から学ぶ森と歴史そして防災	休暇村裏磐梯
7	会津	持続可能な視点で見る、国指定重要文化財「天鏡閣」の見学	（公財）福島県観光物産交流協会 天鏡閣
8	会津	Lotusが考える 心を育む癒しの木のものづくり	体験NPO法人Lotus
9	会津	誰一人取り残さない Lotusが考える子育て支援を体感しよう！	体験NPO法人Lotus
10	会津	尾瀬国立公園ハイキングで学ぶ～自然環境保護と持続可能な観光～	会津アストリアホテル
11	会津	地域資源を再生可能エネルギーへ～南会津町の取り組み～	会津アストリアホテル
12	中通り	再生可能エネルギー（地熱発電所）見学ツアー	土湯温泉観光協会
13	中通り	レジリエントな地域づくり	土湯温泉観光協会
14	中通り	もったいない桃のシンデレラストーリー	（株）ももがある
15	中通り	福島お膳で福島の持続可能な農と食を体験する	摺上亭大鳥
16	中通り	日本酒アドバイザーと考える持続可能な日本酒文化	摺上亭大鳥
17	中通り	獣害被害を資源に活用 猪革ワークショップ体験	（一社）伊達市農林業振興公社
18	中通り	名峰 霊山wakuwakuハイキング	（一社）りょうぜん振興公社 （りょうぜん 子どもの村）
19	中通り	フードロスをなくそう！～いちごサイダー誕生物語り～	（一社）りょうぜん振興公社 （道の駅 伊達の郷りょうぜん）
20	中通り	千年伝統【上川崎和紙】手漉き和紙体験プログラム （現地体験・出張体験）	（株）二本松振興公社 （二本松市和紙伝承館）
21	中通り	森林環境教育プログラム	（公財）ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団 （フォレストパークあだたら）
22	中通り	玉村災害対応キャンププログラム	（公財）ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団 （フォレストパークあだたら）
23	中通り	触れる地球～SDGsの概要、地球規模の問題を学ぶ～	福島県環境創造センター交流棟コミュニティ福島
24	中通り	SDGsを理解し、「自分ごと化」しよう！ ～誰ひとり取り残さない世界を目指して～ 基礎編	福島県環境創造センター交流棟コミュニティ福島
25	中通り	「未来を創る」コミュニティ福島で学ぶSDGs 発展編	福島県環境創造センター交流棟コミュニティ福島
26	中通り	星の村天文台で 見つける・考える・残していく 未来の星空	星の村天文台
27	中通り	あぶくま洞の神秘と地域資源を活かした産業保全について学ぶ	（一財）田村市滝根観光振興公社（あぶくま洞）
28	中通り	道の駅でSDGs！～食べて学ぶサステナブルな考え方～	（株）天栄村振興公社
29	中通り	天栄村で学ぼう！SDGs～みんなが幸せを感じ笑顔あふれる世界へ	（一社）天栄村ふるさと夢学校
30	中通り	身近なことからはじめてみよう！～間伐材を活用したマイ箸づくり～	（一社）天栄村ふるさと夢学校
31	中通り	天栄村で学ぼう！SDGs～農業体験・農村宿泊～	（一社）天栄村ふるさと夢学校
32	浜通り	資源管理と栽培漁業から学ぶ水産資源の持続的利用	福島県水産資源研究所
33	浜通り	一般研修（ガイダンス・施設見学・語り部講話・フィールドワーク・ワークショップ）	東日本大震災・原子力災害伝承館
34	浜通り	見えない不安を数値で確認～環境モニタリング体験～	特定廃棄物埋立情報館リブルんふくしま
35	浜通り	さつまいも苗植え体験/さつまいも収穫体験	（株）福島しろはとファーム
36	浜通り	持続可能な林業へ 間伐材を活用した割り箸・鉛筆作り体験	（株）磐城高箸
37	浜通り	アクアマリンふくしま館内学習「きれいな海と生き物を守ろう」	（公財）ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）
38	浜通り	アクアマリンふくしま館内学習「命をいたごう（釣り・調理体験）」	（公財）ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）